

野村ファンドラップ オルタナティブプレミア

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

交付運用報告書

第10期（決算日2022年1月20日）

作成対象期間（2021年7月21日～2022年1月20日）

第10期末（2022年1月20日）	
基準価額	9,101円
純資産総額	29,668百万円
第10期	
騰落率	△ 0.7%
分配金（税込み）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書（全体版）は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書（全体版）」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、不動産投資信託、商品等を実質的な投資対象とし、デリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な取引対象とすることにより、絶対収益の獲得を目指して運用を行なう投資信託証券に投資し、信託財産の成長を目標に運用を行なうことを基本とします。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

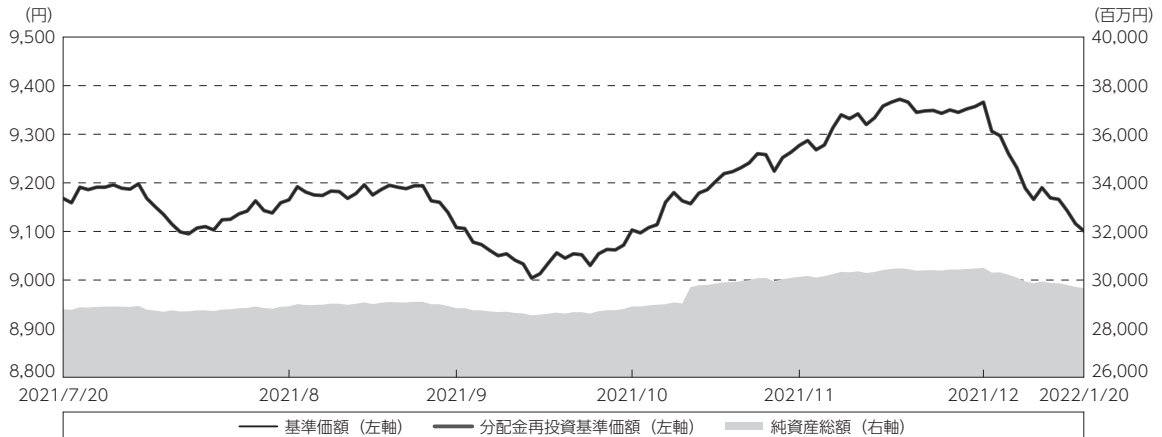


ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年7月21日～2022年1月20日)



期首：9,168円

期末：9,101円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 0.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年7月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首9,168円から期末9,101円となりました。

(下落要因)

「ノムラスマートプレミアムF」が値下がりしたこと。

1 万口当たりの費用明細

(2021年7月21日～2022年1月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 14	% 0.150	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(11)	(0.122)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(2)	(0.017)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(1)	(0.011)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	14	0.152	
期中の平均基準価額は、9,202円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

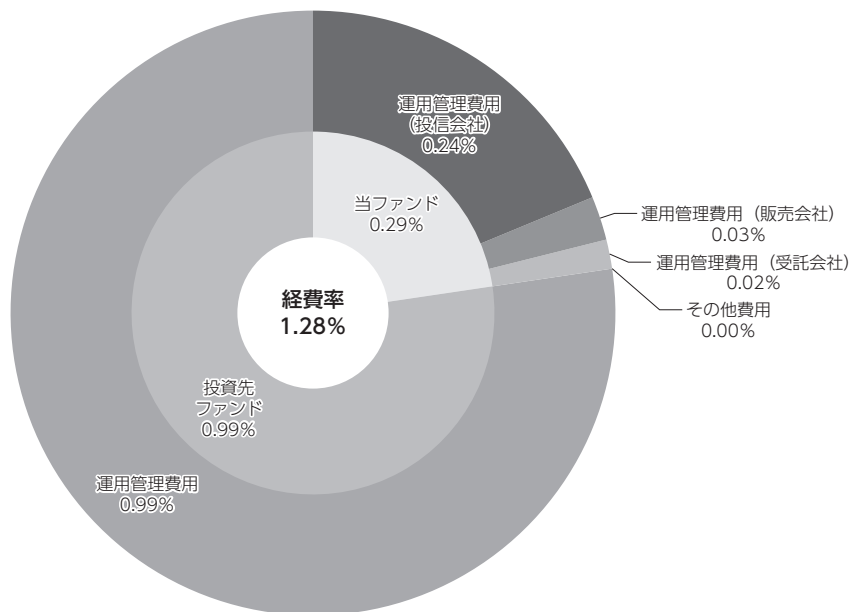
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.28%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	1.28
①当ファンドの費用の比率	0.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.99

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

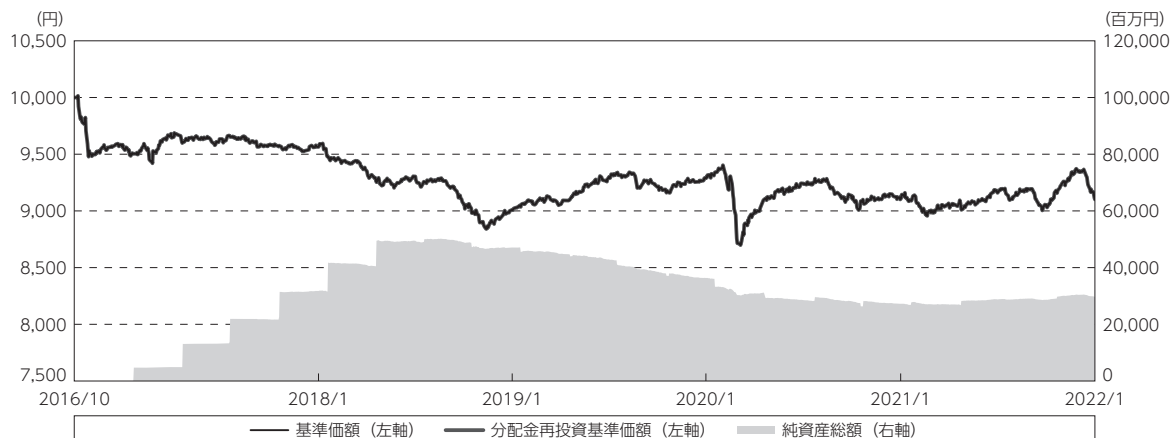
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年10月21日～2022年1月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2016年10月21日です。

	2016年10月21日 設定日	2018年1月22日 決算日	2019年1月21日 決算日	2020年1月20日 決算日	2021年1月20日 決算日	2022年1月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,564	9,010	9,288	9,105	9,101
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 4.4	△ 5.8	3.1	△ 2.0	△ 0.0
純資産総額 (百万円)	1	31,760	47,063	36,344	27,223	29,668

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2018年1月22日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境

(2021年7月21日～2022年1月20日)

＜世界株式市場＞

欧米を中心とした先進国株式市場は、エネルギー価格の高騰によるインフレ圧力などが警戒されたことや、新型コロナウイルスのオミクロン株への警戒感、主要中央銀行による金融政策正常化の動きなどから下落した場面がありましたが、米欧企業の市場予想を上回る2021年7～9月期決算が続いたことや、米国年末商戦の売上が予想に反して良好さを示したこと、FDA（米食品医薬品局）が新型コロナウイルスの飲み薬の緊急使用を承認したことなどから、当作成期においては値上がりとなりました。

＜世界債券市場＞

米国債券は、FOMC（米連邦公開市場委員会）でテーパリング（量的金融緩和の縮小）開始時期について2021年の年内が適切との見方を示したことや、米金融政策の正常化が進むとの見方、オミクロン株への過度な警戒感が後退したことなどを背景に、当作成期において、値下がりとなりました。欧州債券も、主要中央銀行による金融政策正常化の動きや、オミクロン株への過度な警戒感が後退したことなどを背景に下落基調で推移し、当作成期において、値下がりとなりました。

＜為替市場＞

米国において、堅調な米経済指標や、米金融政策の正常化が意識され、米長期金利が上昇基調を強めたこと、商品価格が上昇したことなどを背景に、当作成期中においては、米ドルは円に対して上昇しました。欧州において、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和の縮小観測が台頭したことから、ユーロは円に対して上昇した場面があった一方、新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、経済回復への不透明感が高まったことなどから下落し、当作成期中においては、ユーロは円に対してほぼ横ばいとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年7月21日～2022年1月20日)

世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、不動産投資信託（REIT）*、商品等を実質的な投資対象とし、デリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な取引対象とすることにより、絶対収益の獲得を目指して運用を行なう投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に運用を行ないました。

*世界の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券（一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。）とします。なお、国によっては、「不動産投資信託証券」について、「REIT」という表記を用いていない場合もありますが、ファンドにおいては、こうした場合も含め、全て「REIT」といいます。

・投資信託証券組入比率

投資方針に基づいて、当作成期を通じて高位の組入れを維持しました。

・指定投資信託証券の見直し

当作成期間において、指定投資信託証券（投資対象ファンド）の見直しを実施し、『グローバル・アセット・モデル・ファンドF』を除外し、『ノルデア1-アルファ15・エムエー・ファンド HBI-JPYクラス（円ヘッジ）』を新たに組み入れました。

・指定投資信託証券の組入れ比率推移

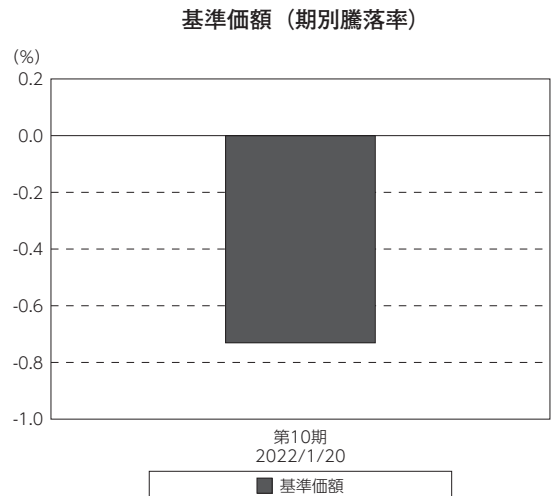
ファンド名	期首	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	期末
ノムラスマートプレミアムF	20.0%	20.1%	20.0%	19.3%	17.4%	17.3%	17.0%	17.0%
スパークス・日本株・双剣ファンドF	14.7%	14.7%	14.5%	15.0%	15.2%	14.9%	14.9%	14.6%
LM・カレンシー・アルファ・ファンドF	24.7%	24.7%	24.6%	24.6%	19.2%	20.0%	19.6%	20.4%
ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・アメリカズ・ダイバーシファイド・エクイティ・アブソルート・リターン・ファンド クラスI2 円ヘッジ	14.9%	14.8%	14.9%	15.0%	15.0%	14.6%	14.9%	15.1%
ピクテTR-アトラスHI-JPYクラス (円建て円ヘッジ)	24.1%	24.0%	24.2%	24.2%	19.9%	19.2%	19.3%	19.6%
ノルデア1-アルファ15・エムエー・ファンド HBI-JPYクラス (円ヘッジ)	-	-	-	-	12.1%	12.6%	13.1%	12.1%
野村マネー マザーファンド	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
グローバル・アセット・モデル・ファンドF	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	-	-	-	-

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年7月21日～2022年1月20日)

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2021年7月21日～2022年1月20日)

収益分配金については、基準価額水準等を勘案して決定しました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり・税込み)

項 目	第10期	
	2021年7月21日～2022年1月20日	
当期分配金	-	
(対基準価額比率)	-%	
当期の収益	-	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	73	

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

以下のように、定性的に高く評価したファンドを中心に、リスク分散を考慮して投資することで、多くの運用者の資産運用スキルを効率よく活用することを目指します。

- 1) 各投資対象ファンドについて「ファンドの運用目標を中長期的に安定して達成する可能性」を定性的に評価します。
- 2) 各投資対象ファンドの「リスク特性」^(注)を定量的に分析します。
- 3) 定性的に高く評価したファンドを中心に、「リスク特性」の状況などにも配慮しつつ、組入ファンドの投資比率の調整を行いません。

(注) ここでいう「リスク特性」とは、資産配分など各ファンドの値動きに影響を与える特徴的な要因をいいます。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

該当事項はございません。

当ファンドの概要

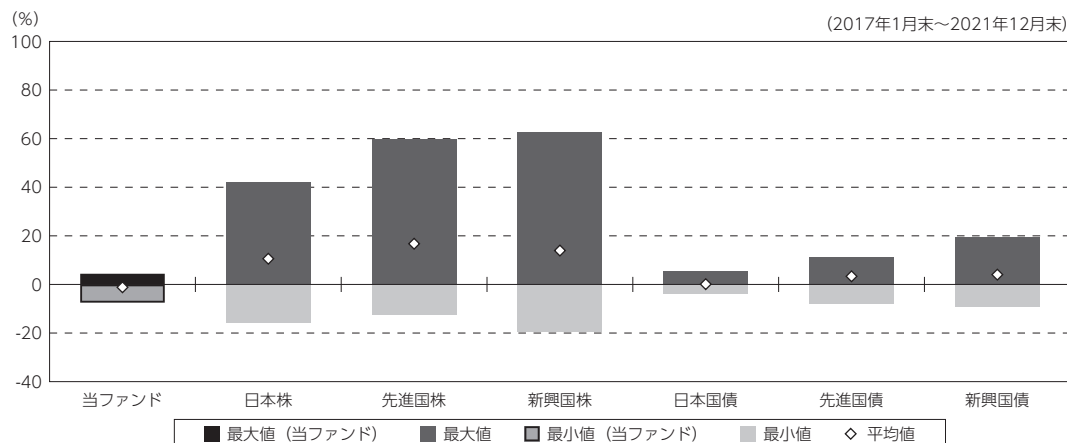
商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）
信託期間	2016年10月21日以降、無期限とします。
運用方針	主として、世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、不動産投資信託、商品等を実質的な投資対象とし、デリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な取引対象とすることにより、絶対収益の獲得を目指して運用を行なう投資信託証券（投資信託の受益証券（投資法人の投資証券を含みます。））。以下同じ。）に投資し、信託財産の成長を目標に運用を行なうことを基本とします。 外貨建ての投資信託証券に投資する場合は、当該投資信託証券に対して対円での為替ヘッジを行なうことを基本とします。
主要投資対象	主として有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、不動産投資信託、商品等を実質的な投資対象とし、デリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な取引対象とすることにより、絶対収益の獲得を目指して運用を行なう投資信託証券に投資し、信託財産の成長を目標に運用を行なうことを基本とします。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響を受け、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	4.4	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 7.5	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 7.9	△ 9.4
平均値	△ 1.2	10.6	16.8	13.9	0.1	3.3	4.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年1月から2021年12月の5年間(当ファンドは2017年10月から2021年12月)の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

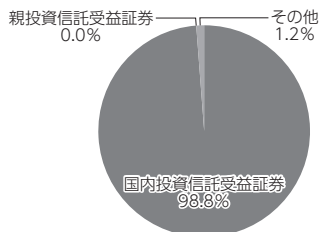
組入資産の内容

(2022年1月20日現在)

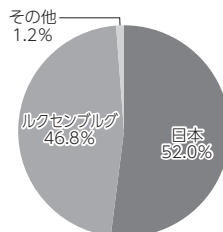
○組入上位ファンド

銘柄名	第10期末
	%
LM・カレンシー・アルファ・ファンドF (適格機関投資家専用)	20.4
ピクテTR-アトラスHI-JPYクラス (円建て円ヘッジ)	19.6
ノムラスマートプレミアムF (適格機関投資家専用)	17.0
その他	41.8
組入銘柄数	7銘柄

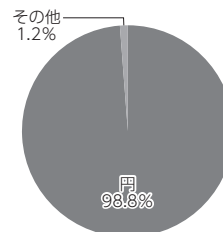
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

純資産等

項目	第10期末
	2022年1月20日
純資産総額	29,668,850,719円
受益権総口数	32,600,172,950口
1万口当たり基準価額	9,101円

(注) 期中における追加設定元本額は3,268,924,809円、同解約元本額は2,083,704,829円です。

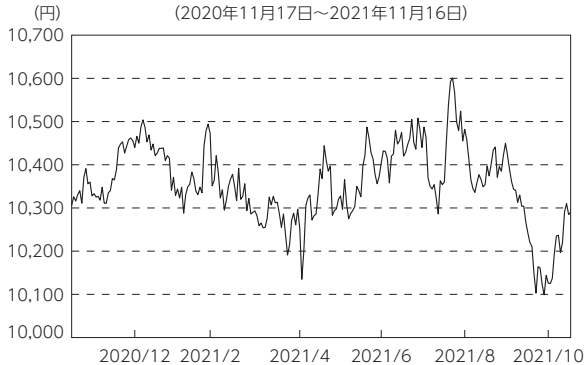
組入上位ファンドの概要

LM・カレンシー・アルファ・ファンドF（適格機関投資家専用）

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2020年11月17日～2021年11月16日)



【1口当たりの費用明細】

(2020年11月17日～2021年11月16日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	44 (40) (2) (2)	0.427 (0.385) (0.022) (0.020)
(b) その他費用 (監査費用) (印刷等費用) (業務委託等費用)	1 (0) (0) (1)	0.011 (0.003) (0.000) (0.007)
合計	45	0.438

期中の平均基準価額は、10,364円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

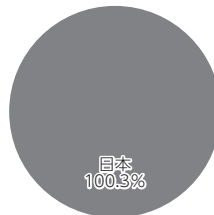
(2021年11月16日現在)

銘柄名	第2期末
LM・ウエスタン・カレンシー・アルファ・マザーファンド	100.3%
組入銘柄数	1銘柄

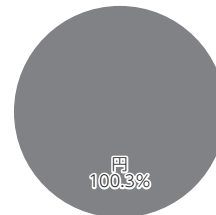
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



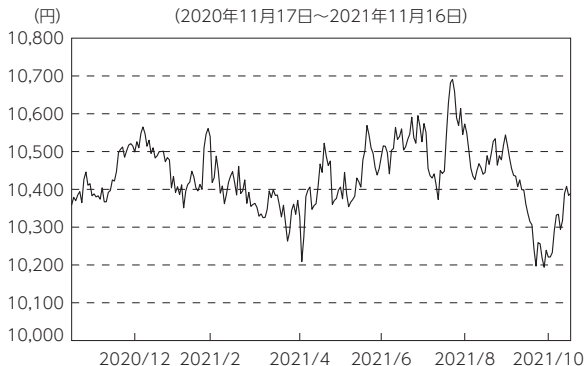
- (注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

————— <ご参考> LM・ウエスタン・カレンシー・アルファ・マザーファンド —————

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2020年11月17日～2021年11月16日)



【1万口当たりの費用明細】

(2020年11月17日～2021年11月16日)

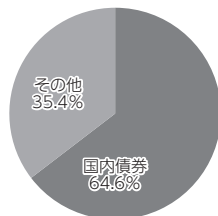
該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

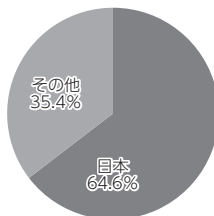
(2021年11月16日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	第1022回国庫短期証券	国債証券	円	日本	18.0
2	第1030回国庫短期証券	国債証券	円	日本	17.7
3	第1019回国庫短期証券	国債証券	円	日本	15.4
4	第1027回国庫短期証券	国債証券	円	日本	13.5
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			4銘柄		

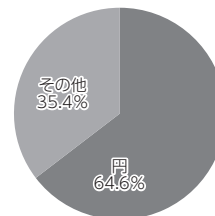
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

ピクテTRーアトラスHI-JPYクラス（円建て円ヘッジ）

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【純資産価格の推移】



(注) 分配金を分配時に再投資したものととして計算しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2020年1月1日～2020年12月31日)

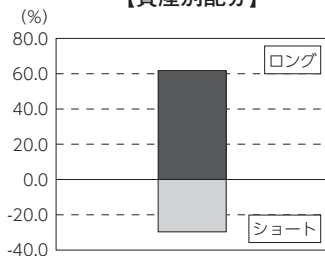
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

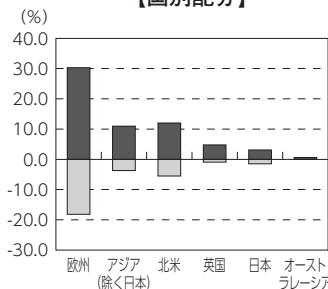
(2020年12月31日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	Tencent Holdings Ltd	コミュニケーション・サービス	香港ドル	中国	2.9
2	Nestle Sa-Reg	生活必需品	スイスフラン	スイス	2.2
3	Siemens Ag-Reg	資本財・サービス	ユーロ	ドイツ	2.2
4	Amazon.Com Inc	一般消費財・サービス	米ドル	米国	2.0
5	Carlsberg As-B	生活必需品	デンマーククローネ	デンマーク	1.9
6	Legrand Sa	資本財・サービス	ユーロ	フランス	1.8
7	Nike Inc -Cl B	一般消費財・サービス	米ドル	米国	1.8
8	Rwe Ag	公益	ユーロ	ドイツ	1.8
9	Canadian Pacific Railway Ltd	資本財・サービス	米ドル	カナダ	1.7
10	Visa Inc-Class A Shares	情報技術	米ドル	米国	1.6
組入銘柄数			60銘柄		

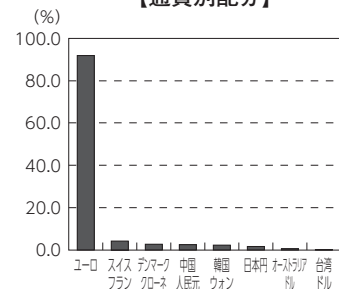
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 上記の「ロングポジション」「ショートポジション」は、株式および株式関連の派生商品等により構築されております。オーストラレーシアはオーストラリア、ニュージーランドを指します。

(注) 通貨別配分はネットのポジションとなります。

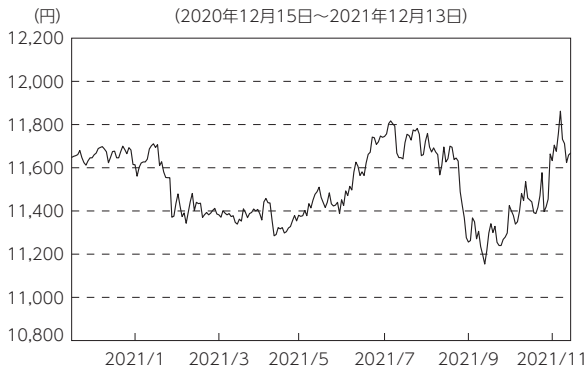
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書（全体版）に記載しております。

ノムラスマートプレミアムF (適格機関投資家専用)

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

【基準価額の推移】

(2020年12月15日～2021年12月13日)



【1口当たりの費用明細】

(2020年12月15日～2021年12月13日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬(基本報酬)	107	0.932
(投 信 会 社)	(101)	(0.878)
(販 売 会 社)	(3)	(0.022)
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)
(b) 信託報酬(成功報酬)	51	0.440
(c) 売買委託手数料	14	0.120
(投 資 信 託 証 券)	(2)	(0.018)
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(12)	(0.102)
(d) 有価証券取引税	0	0.000
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)
(e) その他費用	4	0.034
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)
(そ の 他)	(3)	(0.026)
合 計	176	1.526

期中の平均基準価額は、11,499円です。

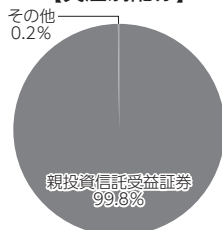
- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 (注) 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

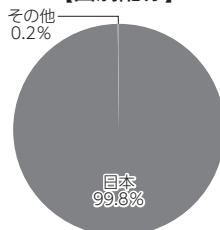
(2021年12月13日現在)

銘柄名	第5期末
ノムラスマートプレミアムマザーファンド	99.8%
組入銘柄数	1銘柄

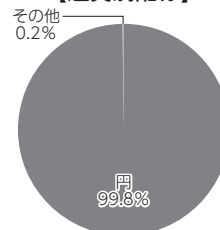
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。

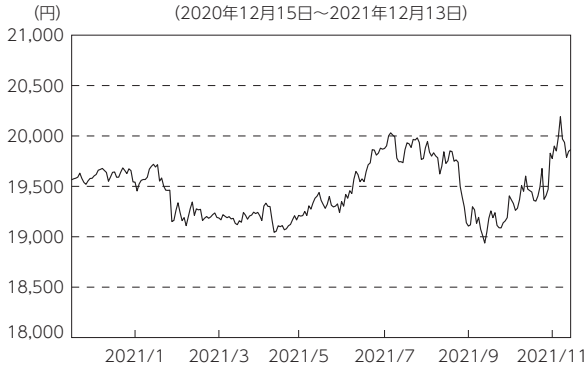
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<ご参考> ノムラスマートプレミアムマザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2020年12月15日～2021年12月13日)



【1万口当たりの費用明細】

(2020年12月15日～2021年12月13日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券) (先物・オプション)	23 (3) (20)	0.120 (0.018) (0.102)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	6 (1) (5)	0.031 (0.006) (0.026)
合計	29	0.151

期中の平均基準価額は、19,436円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【現物資産上位10銘柄】

(2021年12月13日現在)

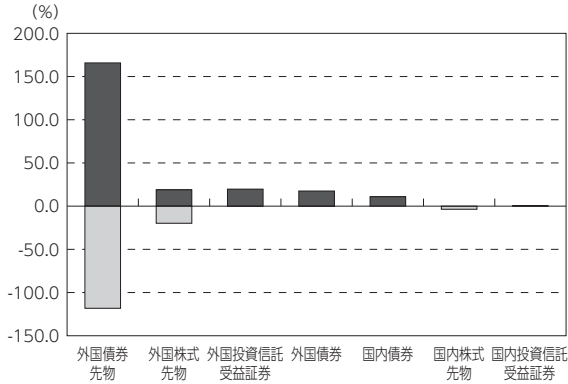
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ISHARES JP MORGAN USD EM BOND ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	6.0
2 BUONI POLIENNALI DEL TES 0.5% 2026/2/1	国債	ユーロ	イタリア	5.3
3 国庫債券 利付(30年)第33回	国債	円	日本	3.5
4 TSY INFL 1X N/B 1/L 0.125% 2031/1/15	国債	米ドル	アメリカ	2.8
5 国庫債券 利付(10年)第361回	国債	円	日本	2.8
6 TSY INFL 1X N/B 0.25% 2050/2/15	国債	米ドル	アメリカ	2.6
7 ISHARES BROAD USD INVESTMENT ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	2.0
8 国庫債券 利付(20年)第175回	国債	円	日本	1.9
9 INVESCO DB AGRICULTURE FUND	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	1.9
10 ISHARES EUR HY CORP BOND UCITS ETF EUR D	投資信託受益証券	ユーロ	アイルランド	1.7
組入銘柄数		48銘柄		

【派生商品上位10銘柄】

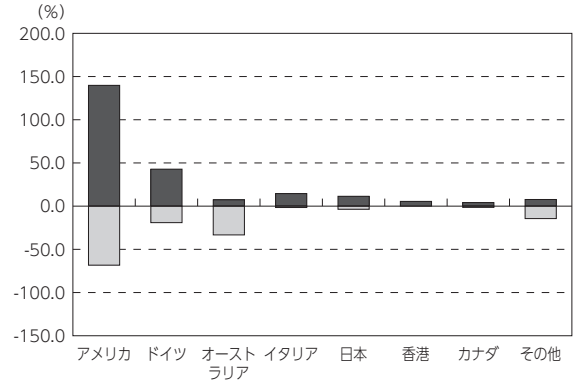
(2021年12月13日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 T-NOTE 2203	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	64.9
2 2Y-TNOTE2203	債券先物(売建)	米ドル	アメリカ	64.5
3 BUNDS 2203	債券先物(買建)	ユーロ	ドイツ	37.8
4 AU03YR 2203	債券先物(売建)	豪ドル	オーストラリア	33.3
5 T-BOND 2203	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	25.6
6 BOBL 2203	債券先物(売建)	ユーロ	ドイツ	19.1
7 T-ULTRA 2203	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	13.3
8 BTS 2203	債券先物(買建)	ユーロ	イタリア	8.8
9 NASDAQMN2203	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	8.3
10 AU10YR 2203	債券先物(買建)	豪ドル	オーストラリア	7.0
組入銘柄数		35銘柄		

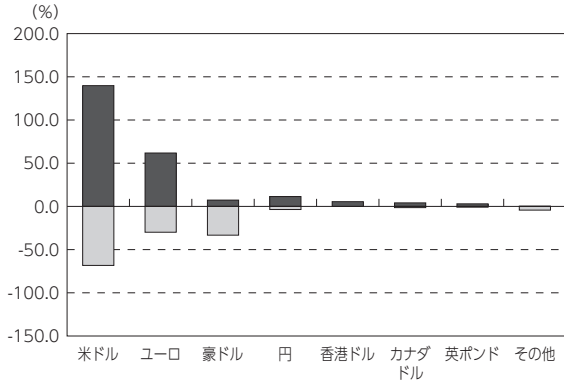
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
- (注) 国（地域）および国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
- (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
- (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行なわれる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国の J.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMS LLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMS LLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行なう際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)